

足立区住宅政策審議会規則

(目的)

第 1 条 この規則は、足立区住宅基本条例（平成 6 年足立区条例第 22 号。以下「条例」という。）第 18 条の規定に基づき、条例第 16 条の規定による足立区住宅政策審議会（以下「審議会」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。

(審議会の委員)

第 2 条 条例第 16 条第 3 項に規定する審議会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 3 人以内
- (2) 区内関係団体の代表者 4 人以内
- (3) 公募による区民 3 人以内
- (4) 区議会議員 5 人以内
- (5) 関係行政機関職員 2 人以内

2 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第 3 条 審議会に会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指定する委員がその職務を代理する。

(審議会の招集)

第 4 条 審議会は、会長が招集する。

(審議会の定足数及び表決数)

第 5 条 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

2 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(審議会委員以外の者の出席)

第 6 条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を審議会に出席させ、意見を聴取し、又は説明させることができる。

(審議会幹事)

第 7 条 審議会に、区長が任命する幹事を若干人置く。

2 幹事は、会長の命を受け、審議会が行う調査又は審議を補佐する。

(審議会の公開)

第 8 条 審議会の会議は、公開する。ただし、会長が公開することを適当でないと認めたときは、この限りでない。

2 審議会の公開に当たっては、会長は、審議会の会議を傍聴しようとする者（以下「傍

聴者」という。)の人数を制限することができる。

(審議会の傍聴)

第9条 傍聴者は、会長の指示に従わなければならない。

2 会長は、傍聴者が会長の指示に従わないときは、当該傍聴者に退場を命ずることができる。

(審議会の議事録)

第10条 会長は、審議会の議事録を作成し、これを保存しなければならない。

2 審議会の議事録には、会長及び会長が指名する委員が署名するものとする。

3 審議会の議事録は、公開する。ただし、会長が公開することが適当でないと認めたときは、この限りでない。

(専門部会)

第11条 審議会は、専門の事項を調査検討するため、必要があると認めるときは、専門部会を置くことができる。

2 各専門部会は、会長が委員のうちから部会員として選任する者5人以内をもって構成する。

3 専門部会に部会長及び副部会長を置き、部会長は当該専門部会の委員の互選により選出し、副部会長は当該専門部会の委員のうちから部会長が指名する。

4 部会長は、当該専門部会を招集し、審議会から付託された事項について調査検討を行い、当該調査検討結果を審議会に報告しなければならない。

5 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 専門部会の定足数及び表決数については、第5条の規定を準用する。

7 部会長は、必要があると認めるときは、第2項に規定する者以外の者を審議会に出席させ、意見を聴取し、又は説明させることができる。

(審議会庶務)

第12条 審議会及び専門部会の庶務は、都市建設部建築室長付住宅課において処理する。

(委任)

第13条 この規則の施行について必要な事項は、別に定める。